

事業所名: ひまり園

配布 113人
回収 87人
回収率 76.9%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	回答
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	84	3			・外遊びもいろいろな遊びができるスペースが十分にあると思う ・教室や園庭のスペースは十分だと思います ・室内で遊ぶ際に安全面が心配 ・外あそびなど自由に出来て喜んでいる ・園庭が広く走り回れる	・少しでもゆったりと安全に広く遊べるように、おもちゃや乗り物の整理を行いながら環境を整え工夫していきます
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	82	2		3	・しっかり関わってもらっています ・よく相談に乗ってもらえ助かる ・何を専門とされているかわかりません	・職員の配置は、適切に配置していますが、その日の参加人数や子どもさんの様子によっては手薄になっていることもあると感じています。クラスを越えて、全員の職員と、しっかりと連携しながら、個々の子どもさんと関わっていきます ・一人ひとりの子どもさんに必要な支援を実施し、口頭でもきちんと言葉で伝えていきます
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	78	5		4	・登園後、子ども自身で靴や荷物の収納ができるようわかりやすくなっていると思う	・危険箇所は、マットや人工芝などで安全を確保できるように努めています。また、滑りやすい箇所は、より一層安全確保に努めます ・生活面での支援は、子どもたちの思いに寄り添いながら、声掛けの仕方や自分でやってみようと思えるような環境を整え、保護者の方と一緒に取り組んでいきたいと思っています
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	87				・プールの後は、タオルが床にひいてあったりと快適に過ごせるような配慮があった ・室内も整えられていて、用途に合わせて活動環境を変えてある ・いつも清潔で安心して過ごせている	・未歩行児の遊べる環境は作りにくい現状ですが、遊具の工夫で(箱車、スクーターなど)外の空間でも遊べるようにしていきたいと考えています ・園庭でも楽しく遊べるように、遊び方の工夫を検討していきます
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	79	2		6	・月2回の通園の場合、先生とお話しているタイミングが無いと感じることもあり、多少のズレを感じることもあった ・親子での活動、制作などの関りで子ども達の成長や興味友だちとの関わり方が直接感じられる	・これからも、子どもの状態の見極めを行った上で、家庭や併行先での姿と合わせて、児童発達支援管理責任者を中心に個別支援計画を作成していきます ・内容が、具体的に分かりやすい支援計画になるよう検討していきます
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	72	4			・家族への支援は、親子の気持ちに寄り添って下さる ・ひまり園の先生方はよく子どもの話を聞いてくれたり、気持ちをくんでくれたり学びになる	・ひまり園では、親子関係を深めながら、人との関係を豊かにできるように、遊びや生活の中で具体的な支援方法を考えています。 ・そして、保護者の方々には、これからも個別支援計画の内容について、また子どもたちの状況についても、より分かりやすく丁寧に説明していけるように努めます
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	76	4		7	・クラスに他に手のかかる子がいる場合、子どもと先生が接する機会があまりないと感じる事もある ・集団行動の中でもよく子どもを見てくれて支援が行き届いている	・子どもたちの様子を、常に全体で確認し合いながら、個と集団での取り組みを考えていきます ・これからも、保護者の方々の思いを聞きながら一緒に考えていきます

8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	76	1		10	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月子どもも親も一緒になつて楽しめる活動を考えてもらっている ・いろいろな活動を考えてくれている ・活動内容も工夫されており子どもの意欲も刺激されて親子で楽しめている ・意図があつてなのか毎回同じ歌や部屋あそびをされている 	<ul style="list-style-type: none"> を繰り返しています。その中で、子どもたちの様子を見ながら変化を加えています。繰り返しの中で、遊びが見通せたり分かることで安心感に繋がると考えています。そのことも、丁寧にお伝えしていきます
9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	30	11	22	24	<ul style="list-style-type: none"> ・隣のクラスと外遊びが出来るのは良い ・幼稚園で交流があるので求めている ・併行通園なので交流はあるが、ひまり園ではそういった機会はない 	<ul style="list-style-type: none"> ・併行通園児には、必要に応じて連携を行い、その中でも訪問・来園の必要があれば対応しています ・交流は、併行通園の子が多いので、今後も特に考えていません ・ひまり園での時間は、母子関係を深め、親子で楽しめる関係性をじっくり積み重ねていく事を大切にしたいと考えています
10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	78	5		4	<ul style="list-style-type: none"> ・入園の際に説明があつた 	<ul style="list-style-type: none"> ・見学時、入園にあつての契約時等に、説明させて頂いています ・変更があつた場合は、その都度、おたより等で詳しくお伝えしていくように努めます ・分かりにくい所は、丁寧に伝えるように努めます
11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	79	2		6		<ul style="list-style-type: none"> ・懇談の時間を使いながら、一人ひとりに分かりやすく説明できるように努めていきます
12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	78	6	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢があがると、親も先生と接するタイミングが少なくなって、あまり実感はない ・相談に乗ってもらえたり接し方を教えてもらっています ・懇談等の中で対応して頂いている 	<ul style="list-style-type: none"> ・困ったことや心配なことがある時は、いつでも対応が出来る体制を整えています ・ペアレントトレーニングという形式にはとらわれず、子どもたちの状況や保護者の思いをしっかりと聞きながら、よりよい支援に繋がっていくよう努めます
13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	80	5	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・先生が子どもの様子を把握してくれているので、いつも共感してもらっている ・先生方がよく様子を聞いてくれており、話す機会が日頃からある ・よく声をかけてくださる 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、日常的に保護者の方々と話をしながら、子どもさんの状況を把握し支援していけるように努めていきます ・後半には、保護者とのモニタリングの中で、目標や個別支援計画の評価を丁寧に行います
14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	85	2			<ul style="list-style-type: none"> ・タイミングが不定期なので事前に日にちを伝えてもらいたいです ・子ども達だけでなく、保護者の体調やメンタルにも寄り添ってくれて感謝している 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別懇談やクラス懇談などを定期的に計画し、悩みなどを共有できるように考えています。また、話ができない時は連絡ノートも作っていますので、一人で抱え込むことなく相談できるように考えています
15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	63	8	4	12	<ul style="list-style-type: none"> ・お話会の回数をもう少し減らして、子どもと遊ぶ時間が増えるといいです ・親だけのおしゃべり会などで保護者と連携が取れている ・月1回くらいのペースで個別懇談があり、細かな支援がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方全員が、通われる曜日も違い、保護者会の活動はありませんが、おしゃべり会等で保護者同士の繋がりが持ちやすいように、これからも職員が仲立ちとなっていきます。 ・保護者だけのおしゃべり会も実施していますが、回数など検討していきます。 ・託児に来て下さる先輩保護者の方々の話を聞く機会を作り、子育ての見通しが持て、子どもとの関わり方のヒントに繋がればよいと考えています
16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	81	2	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的におしゃべり会があり、繋がりが持ちやすくなっている ・よくコミュニケーションをとって下さっています。支援計画についてどのように対応されて、どう変化しているのか途中経過の文書などあればもっとわかりやすいかなと思います 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間の連携をしっかりと取り合せて、一人ひとりの子どもたちと向き合っていくように努めます ・必要があれば、いつでも面談ができる体制を作っています

保護者への説明等	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	83	1	1	2	<ul style="list-style-type: none"> 電話がつながりにくい。 お休みした際に次回の内容や準備物が分からない時があります よくされている 	<ul style="list-style-type: none"> 常に、全体・個々に対応できるような配慮が大切だということを職員間でも共有していきます
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	71	3	1	12	<ul style="list-style-type: none"> ホームページを見ていなかった 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページは、月1回のペースで発信をしています。情報発信も、これからも丁寧に伝えていきます 自己評価の結果は、ホームページ上で公表しています
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	80	1	2	4	<ul style="list-style-type: none"> 守られている 住所がわかる知られた 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も個人情報の取り扱いには十分注意していきたいと思えます
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	75	3	2	7	<ul style="list-style-type: none"> 説明は最初にあった 火災の避難訓練には参加したことがある 	<ul style="list-style-type: none"> 各種マニュアルは、いつでも閲覧できるように玄関の所に設置しておりますが、全体に周知できるように、クラスにも案内文を掲示していきます 火災以外の災害時の訓練として、地震災害の訓練も行いました。他の訓練も、今後検討していきたいと考えています 消化器の位置などの確認も行っています
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	80	1	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 親子で訓練に参加できてよかった 	<ul style="list-style-type: none"> 年2回ではありますが、定期的な火災訓練・地震訓練を実施しています。今年度は、土曜日・午後からの療育時間にも避難訓練を実施しました。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	84	3			<ul style="list-style-type: none"> 楽しく遊んでくれている 幼稚園よりも楽しみにしている 楽しみにしている 通えてよかった 	<ul style="list-style-type: none"> これからも、親子で安心して通って頂けるよう努力していきます 幼稚園よりも楽しみにしている 親子で通う中で”一緒に遊んで楽しい”と思って頂けるよう療育内容の充実に努めます
	23	事業所の支援に満足しているか	83	2		2	<ul style="list-style-type: none"> とっでも満足しています 信頼できる先生方に相談に乗ってもらえて助かっている 本人は毎回楽しそうに過ごしています。親としては室内の活動で同じことの繰り返しではなく、様々な経験を積ませたいと思う(同じことをすることに理由があるのかもしれない) 	<ul style="list-style-type: none"> 親子で楽しく通って来て頂けるように、これからも保護者との信頼関係を深めていけるように努めていきます 療育内容の検討、同じ遊びをすることの意図も丁寧に伝えていきます 同じ遊びの中にも、子どもたちの様子を見ながら、楽しめるよう変化を加えていきます

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。